

2020 三学期終業式

一輪の梅の花に春の先触れを感じてからも、三寒四温の言葉通り変動の激しい天候が続きましたが、桜の開花も宣言され、愈々百花繚乱の季節の訪れです。昨年度末から新型コロナウイルス感染症パンデミックによる非日常的な状況が継続している中、例年通りの季節の巡りによって自然の息吹を実感できることに安心感を覚えます。

入学式も始業式も実施できず一斉休校のまま始まった 2020 年度の新学期。その後も、臨時休校・分散登校・オンライン授業等、変則的な形での学院生活が続き、体育祭・修学旅行の中止、光塩祭・クリスマス会・弁論大会のオンライン開催をはじめ、多くが代替行事に振り替わってしまいました。皆さんが楽しみにされ、またかけがえのない成長の機会になるはずだった種々の学校行事を実施できなかったこと、心よりお詫び申し上げます。本当にごめんなさい。

学園挙げての親睦会も平常開催は叶いませんでしたが、学年を越えてのプレゼント交換会の実施、スペインの姉妹校ベラ・クルス校へのクリスマスカードの贈り物、フェアトレード商品の販売など、皆さんのアイデアで「もう一人の友」を心に描くことができ、親睦会本来の意義を深める機会になり、感謝の思いでいっぱいです。有難うございます。

さて、先週、18 日に高等科卒業式が挙行され、第 87 回生が学び舎を巣立っていられました。本来でしたら、高 2・高 1 の皆さんにも御一緒にお祝いして戴く大切な式ですが、今年も昨年同様コロナ禍の中、在校生として高 2 の代表者の方に参列して戴きました。高等科卒業は、人生の基盤となる人間形成と教養の涵養の時期から、専門的領域へと飛翔するためのスプリングボードとなる要の「秋（とき）」であり、大きな喜びですが、同時に、今迄、時空を共にしてきた同志が学院を去ることを意味しており、一抹の寂しさを禁じ得ません。卒業生の皆様の今後の御活躍を祈りつつ、この場をお借りして、第 87 回生の皆様から戴いた「後輩に残したいアドバイス」を幾つか御紹介します。

- ・たくさん仲間と話し合って、仲間を想って、自分を大切に、かけがえのない一瞬一瞬を過ごせることを願っています。
- ・周りの目を気にして遠慮すること程勿体無いことはありません。迷ったらとりあえず挑戦してみて厳しいなとか飽きたなと思ったら手放してもいいので、とりあえずチャレンジしてみることをおすすめします。
- ・苦しいこと、辛いことがあったら言葉にしてみる！文字にするだけでも客観視できて心が軽くなるよ！
- ・2020 年のように、いつ何が起こって私たちの日常が壊されるかわからないので、学校での生活一日一日を大切に全力で過ごしてください。
- ・学校はたくさん失敗をする場所で、全てスムーズに行くことはまずありません。だからこそ一つ一つの出来事を自分の経験値に変えてどれだけ成長できるかが大切だと思います。
- ・「今」を一生懸命生きること、いつかではなく今やろうとすることが何より大切だと思います。

います。

- ・何一つとして！無駄なものはないから、何事にも全力で向き合う心が何より大切。
- ・不平や不満を言っている、自分が損をしてしまうので、楽しいことや嬉しいことを周りのために言おう！本をたくさん読もう！
- ・自分が心を開けば、周りも心を開いてくれる。
- ・時に様々なことで苦悶することがあるかもしれませんが、他者を信じること、自分を信じることを忘れないでください。みなさんが、この学び舎で素敵な友人とかけがえのない時間を共有できることを祈っています。

まだまだ沢山のメッセージを戴いています。第 87 回生の思いを受け止めて、皆さんが豊かな学院生活を過ごされることを願っています。

ところで、私は第 47 回卒業生です。今年の卒業生が第 87 回生ですから、ちょうど 40 年前に光塩を卒業したことになります。私が高三の年度に光塩女子学院は創立 50 周年を祝いました。勤の良い方、計算の早い方は気付かれたことと思いますが、光塩女子学院は 2021 年 4 月に 90 周年の記念すべき時を迎えます。2021 年度には、皆でお祝いをしたいと念じています。

新型コロナウイルス感染症パンデミックに世界が翻弄されて、一年以上の歳月が流れました。百年前のスペイン風邪の流行においては収束までに約 3 年を要したと言われていいます。ワクチン接種に向けての目途が立ちつつあり、科学技術が日進月歩の現代社会ですので、希望的観測を持ちたくなりますが、今はまだ油断大敵です。自分一人くらい、私たちのグループくらい平気だろう、という甘えや過信を払拭し、一人ひとりが「すべてのいのちを守る」気概を持っての生活を続けていきましょう。

ウイズコロナの時代、日常における当たり前が通用しなくなり、非日常を過ごしているような状況が長く続いています。コロナ禍で、社会の大転換が起きました。幕末に詠まれた狂歌に「泰平の眠りを覚ます上喜撰（蒸気船）たった四杯（四隻）で夜も眠れず」がありますが、ペリー来航同様に令和の時代の私たちも新型コロナウイルスによって揺さぶりを掛けられたと言えるのではないのでしょうか。安穩としてはられません。

教育界でも、オンライン授業が普通のこととなり、一気にデジタル化が加速しました。光塩でも、御家庭で一人一台のデバイスを購入して戴き、校内には BYOD 回線を敷設して、授業は勿論、探究活動や特別講座で活用したり、オンライン講演会を実施したりしてハイブリッドな学びへのチャレンジが続いています。第三波の休校期間にはオンライン授業の配信、そして学校再開後にはオンラインと対面の両方を設定して「いのちを守ること」と「学びの保障」の両立を目指しました。

今回の体験で、オンライン授業の便利さを実感するとともに、対面授業や「face to face」の他者との関わりによる社会的・人間的成長のかけがえのなさを痛感しました。知識や技術の伝達に加え、人と人との直接的なコミュニケーションによる学びの深まりは不可欠であり、新年度に向けて対面とオンラインを用いてのハイブリッドな方法による学びのスタイ

ルを模索中です。いずれにしても、テクノロジーの力を最大限に活かすには、利用者の意識や心の持ち方が物を言います。道具としてのオンラインが活性化して機能するには、学習する皆さんのモチベーションアップが必須なのです。対面授業にもオンライン授業にも主体的に我がこととして取り組むことで、新しい気付きや発想を得られると確信しています。

明治維新・第二次世界大戦後に続く大転換の時、パラダイム・チェンジの時代の渦中を生きる私たちにとって、今こそが正念場です。現在、近代文明の恩恵に浴した 20 世紀型生活様式の影響で、気候変動・環境破壊等、自然環境も大きな問題を抱えていますし、今回のコロナ禍も、動物と人間の生活環境の接近やグローバル社会の発展等が背景にあると考えられます。しかも、日本に関わる地球環境も、東日本大震災から 10 年を経て、2 月中旬そしてほんの数日前にも、その余震と言われる強い地震が起きたり、首都直下型地震・南海トラフ巨大地震等の発生が危惧されたりして予断を許しません。東日本大震災に近い場所を震源とする同じ規模の地震が起きたのは、約 1200 年前の貞観期でした。約 1200 年をサイクルとする歳月のスケールに遥かさを感じますが、私たちが生きている今は、地球の地殻の活動期なのだという現実を直視することが不可欠です。

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会と発展を続けてきた人間の生活は、A I（人工知能）の活用やビッグデータの解析等によって、現在更に大変革が起こっています。内閣府による「科学技術総合戦略 2017」では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させる「Society5.0」の概念が打ち出され「個を活かす持続可能な社会」を目指す未来の姿が提示されました。

地球の歴史、社会の新しい概念、自然環境、そして喫緊の課題であるコロナ禍、時代の変革期を生き抜くために、私たちはしっかり学び底力をつけなくてはなりません。誰かがいつかやってくれると他者任せにするのではなく、私たち一人一人が取り組むのだ！という当事者意識・我がこと感覚を持つことが必要です。学ぶ正念場は「今でしょ！」の覚悟がないと「ボーっと生きてんじゃ」ない！と五歳の女の子に叱られます。

既成概念に縛られないブレイクスルー的な発想を生み出せるように、まずは基盤作りです。折しも、今年度は大学入試も大変革の年でした。大学入試センター試験から大学入学共通テストへの移行があり、教科によっては問題量の増加や解答数の変化が見られ、また出題についても、場面設定の重視や情報整理等を通して思考力・判断力を測る方式が目立ちました。今後、知識・情報・論理の運用の鍛錬が課題です。学びに「緊急性」がある！と心に刻んで、新年度の序章となる春休みに、体を休めつつ、気を引き締めて助走を始めてください。

2020 年度を締め括るにあたり、「光と塩」の学校目標の振り返りをしたいと思います。この一年間、ホスピタリティ溢れる生活を営めたでしょうか。サブテーマの「SALT」

S (Sustainability 持続可能性—環境問題)

A (Ambition 大志—夢の実現)

L (Lux Veritatis 真理の光—学問探究)

T (Tolerance 寛容—多様性)

については、学年進行の目標と共に、来年度も継続して深めていきたいと願っています。様々な学びや社会・自然環境とリンクさせて、お一人おひとりの心の中で、静かに或いはダイナミックに思考を練り広げて戴けたら嬉しい！です。

春の日々を楽しまれ、心豊かに成長された皆さんと 4 月にお会いできることを心待ちにしています。御體を大切に、佳き春休みをお過ごしください。

それでは、今日も一日、そして春休みもファイト！です。

喝！